

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3290800063		
法人名	医療法人社団 水澄み会		
事業所名	グループホーム もやいの家・ひきみ		
所在地	島根県益田市匹見町匹見イ50-1		
自己評価作成日	平成23年2月17日	評価結果市町村受理日	23年6月10日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://kouhyou-c.fukushi-shimane.or.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 応援団
所在地	島根県浜田市相生町3948-2 相生塚田ビル1階103号
訪問調査日	平成23年3月3日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

お客様1人ひとりの思いや希望を知り、それらが少しでも叶えられる様職員全員で努力します。ミーティングを繰り返し、職員全員が気持ちをひとつにして支援出来るよう努力しています。お客様を人生の先輩として尊重し、職員が何が出来るかを常に考え、ご家族様の意見を伺いサービスが向上していけるよう努力しています。地域の方々と交流し、地域に貢献できるように努力しています。事業所間と連携がとれるよう努力しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

今年で6年目を迎えたグループホームであり、一階には有料老人ホームとデイサービスを備えた複合施設である。山間部の小さな町にある為ホームの利用者を見かけたら声をかけてもらい、時には送ってもらうなど近隣の方からの理解も得られ地域に根付いた施設になりつつある。夏に開催された家族会ではケアプランについての講演を行い、ご家族からも評価を受けている。ご家族に基礎知識を理解してもらった上で現在の介護計画や、意見・要望など家族・本人・担当職員が話し合う機会を設けた。訪問日がひな祭りだったこともあり、ボランティアの方が抹茶を利用者に振舞っておられた。職員手作りのひな祭り弁当を頂きながら利用者同士の会話の中でも笑顔があふれ楽しいひと時となる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー) です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念を掲示し、職員が常に目に留めるよう心がけている。職員会議の際話し合い、理念の共有に努めている。	「地域の方と幸せを分かち合える環境」を理念に掲げ、事業所の力を地域にも還元できるよう地域行事に積極的に参加している。職員は「その人らしく」を大切にし、個人の生活ペースが維持できるよう支援している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事には積極的に参加し、地域との交流を継続している。又地域の敬老会にはお招き頂き参加している。	認知症理解を深めてもらうためにも地域の行事に積極的に参加している。地域の方からの相談にのることもあり、日常的に交流ができています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域行事に参加した際、認知症の啓発や相談を受けることで、少しでも地域に貢献できるよう心がけている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	普段のサービスについて報告や説明を行い、意見を伺いサービスの向上につなげている。地域交流の意見も伺い、連携できるよう努力している。	2カ月に1回の定期開催には至らない。スプリンクラー設置と避難訓練の議題の時には消防署の方を招いて開催された。	地域との情報交換の場と捉え、今後は2カ月に1度の定期開催となるよう期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市担当者や町内事業者が集まる会議に出席し、事業所の実情や取り組みを説明し、連携を深めるよう取り組んでいる。	月に1度近隣の事業所と市の担当者が集まり会議を開催し、情報交換を行なっている。包括支援センターとは協力関係が築けるよう努めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会を実施し職員全員が理解できるよう努めている。又その都度疑問点は話し合い、身体拘束ゼロのケアに取り組んでいる。法人全体で月に1度対策委員会を開いている。	身体拘束ゼロのケアを職員は理解している。利用者が外出しそうな時には職員が同行したり、地域の方が知らせてくれることにより鍵をかけないケアが実施できている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会を実施し、虐待防止の取り組みを行っている。法人全体で月に1度対策委員会を開いている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会を実施し、必要に応じ職員間で理解を深めている。常に相談できる体制がある。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	相談時に説明し、契約時には再度丁寧に説明を実施している。十分な理解が得られるまで、分かりやすく説明している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会やご家族の面会時に意見を伺い反映させている。ミーティングの際職員全員で情報を共有している。	面会時ご家族には積極的に話しかけ、生活状況を伝えている。会話の中から意見や要望を聞くなど、些細なことでも言い出しやすい対応を心がけている。意見要望は運営に反映されている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	常日頃からミーティングを行い意見を聞いている。他にも月に1度職員会議を行っている。個人面談を半年に1度行い、それぞれの意見を運営に反映させている。	職員からはサービス向上に関する意見・提案がたくさん出されている。出された意見・提案は前向きに検討し、運営に活かされている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の目標管理を必ず確認すると共に面談も行っており、GH会議時には出席し必要なら修正を行い、結果を給与にも反映させている。一人ひとりの成長に重点をおき、自己啓発に必要な書籍や資料を提供している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	一人ひとりのケアの向上の為、定期的な評価を行なっている。法人内外の研修も力量にあわせた研修を行い、後に進歩状況を把握している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内の同業者と月に1度交流を持ち、年に3度は勉強会を開催している。地域全体でサービスの向上を目指している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談の際、ご本人の状況を把握し、ご家族の意見も伺い、それを職員全員で話し合いをしたうえで本人と接し、1日も早く信頼関係が築けるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前説明時よく意見を伺いご家族の状況を理解し、安心して相談や意見を言って頂けるような関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	地域包括支援センターや担当介護支援専門員とも十分相談の上対応している。入院中の場合は病院相談員とも話し合い対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お客様の心を大切に、尊厳を重視し共に喜びや悲しみを分かち合える関係作りに留意している。お客様の経験や趣味を生かせる場面作りをし、役割を持ち共に支えあえる関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	お客様の様子や出来事をご家族様に伝え、ご家族の思いを聞き職員と一緒に考え、お客様を支えている。又外出・外泊が出来るよう支援している。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	それぞれのお客様の馴染みの場所をよく理解し、面会や外出の支援をしている。	地域に暮らす馴染みの方が尋ねて来たり、継続して手紙のやりとりがある利用者もおられ、関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	1人ひとりの思いや状態を把握し、お客様同士の関係性についての情報を共有し対応している。お客様同士の関係がうまくいくように職員が対応している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	継続的にご家族様より相談を頂いたり、その後の様子を伺っている。又可能であればお会いし、その後の相談に応じている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のかかわりの中でお客様の本当の希望や意向を掴める様一人ひとりに合わせた声かけを行っている。過去の得意な事・好きな事を探り出し、お客様に何が最良かをご家族を交えて検討している。	本人の思いに寄り添い、希望や意向は支援経過に書きとめ全職員で共有している。家族との関係も大切にし、家族を交えて本人の思いを尊重するよう話し合いを行なっている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用開始時や契約時に自宅を訪問し、ご本人やご家族に時間をかけて聴いている。又その後も折にふれ生い立ちや経験・仕事等生活歴で新しい情報や意見を聞き把握に努め、お客様の全体像を知るようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1日1日のお客様の過ごし方を把握し、生活リズムの情報収集に努めている。有する力を日常の中で把握し維持に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々のかかわりの中でお客様の要望や、ご家族からの意見を聞き、その情報を元に職員で話し作成している。又月に1度モニタリングを行い職員間で話し合いをしている。	家族会で介護計画の理解を深める為説明会を開催した。家族からの意見や要望は面会時等事前に聞き、職員間でモニタリングを行い、本人本位の介護計画を職員全員で作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	お客様一人ひとりの様子を記録している。お客様の様子や言動変化、気づきを個別に記録している。職員間で情報を共有し、介護計画の見直しの際役立てている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	准看護師を配置しており、主治医との連携により病気の早期発見や入院の回避、早期治療、入院時の早期退院を支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	お客様が安心して暮らせるよう、警察・消防・商工会・自治会・婦人会・小中学校・保育所等と意見交換や交流を通して協力を呼びかけ支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医との連携が密にとれている。近所にあるところから、緊急の往診にも対応できる。又紹介による大きな病院の受診や専門医の受診も相談しながらおこなっている。	主治医の訪問診療を月に1度受け、健康管理を行っている。他の医療機関の受診が必要な場合は、スムーズに医療が受けられるよう医師の協力を得ながら支援している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員を配置しており、常に健康管理や状態変化に応じた支援を行っている。看護職員のいない時間は看護職員の作った資料を元に対応したり、電話連絡で確認し支援を行なっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	日頃より早期発見治療を心がけ入院回避を行っているが、入院時にはお客様の情報提供を行い、お客様の状態に即した対応ができるよう相談し、見舞い時には病院との情報交換を行い、ご家族と相談しながら早期退院への支援を行なっている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	状態変化に応じてお客様ご家族と話し合い、その都度納得が得られるような対応を行っている。お客様にとって最良な支援が出来るように、職員間で話し合い対応を統一している。医療機関や関係機関との話し合いをしている。	重度化や終末期についての指針を作成している。家族に事業所でできるケアについて説明し、同意を得ている。心身の状況に変化があればその都度話し合い家族の意向に沿う支援を行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応は消防署の協力で訓練を受けている。又職員会議等で対応方法や連絡体制を職員間で確認している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を実施している。又職員会議等で確認している。関係機関やご近所とも話し協力体制を築いている。	避難訓練の他に災害時を想定したシュミレーションを実施し、予想される災害に対して実践力を備えた。過去の大雪の経験を基に備蓄は3日間常備している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お客様の尊厳を大切に、職員の言葉掛けや対応等常にミーティングで確認し、実施している。	「人生の先輩」と敬う気持ちを持って対応している。対応に困ったときにはすぐにスタッフ会議で話し合い利用者の人格を尊重するケアを行なっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お客様にあった言葉掛けを行い、希望を表せるよう時間をかけて行っている。又その時の表情や態度も観察し、納得されているかどうかを確認し支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはあるが、お客様一人ひとりの過ごし方や体調に配慮し、希望に沿うように支援している。外出等も希望に沿って支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お客様が何を着たいかを確認し、職員はそれを支援している。整髪は声掛けし、必要時支援する。理美容は希望に応じ出張サービスを利用している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お客様と共に買い物・調理・食事・片付けをしている。食べたいものを確認し、メニューに入れている。職員も一緒に食卓を囲み、楽しい食事時間が過ごせるよう支援している。	訪問日がひな祭りであった為、職員手作りのひな祭り弁当と一緒に頂いた。お弁当の上にはお雛様の折り紙が飾られ雰囲気作りも大切にしている。利用者同士談笑しながら楽しい食事時間となった。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	バランスを考えたメニュー作り。摂取量の確認。体重の確認。1日の水分量の確認。不足時の対応の変更等考え支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に声掛けし支援している。援助が必要なお客様はそばにつき援助している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄の間隔を把握し、汚染が無いよう声掛けや誘導を行っている。個別に対応し紙パンツの使用枚数の減少に繋がるよう支援している。	声をかけるタイミングを職員間で話し合い、モニタリングと話し合いを繰り返し、その人にあった声掛けや対応をすることにより自立に向けた支援を心がけている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	適度な運動を個別に考え支援している。繊維質の摂取を考え食事を提供している。水分摂取量を確認し不足がないように支援している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	お客様の希望に沿い入浴して頂いている。体調を確認しながら楽しんで頂いている。	本人の希望にそって入浴支援を行っている。すべり防止と目視しやすいように手摺にテープを張り、安全に入浴出来るよう配慮されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お客様のペースに合わせてお客様ご自身のペースで日中の活動が出来るように生活して頂いている。寝付けない場合は温かい飲み物を飲んで頂いたり、職員が話し相手になったりして安心して頂けるように配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お客様1人ひとりの薬ファイルを作成して内容の把握に努めている。薬の変更や臨時薬がある際はお客様個々の伝達ファイルに書きとめ情報を共有している。わからない時は主治医に教えて頂いている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お客様の得意分野を把握し、楽しみとなるように支援している。食事作りや掃除・片付け畑仕事等経験や知恵を活かせる場面を提供している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日には戸外に外出できるよう支援している。お客様の希望により散歩や墓参り、買い物等へ出掛けている。	毎日のようにお墓まで散歩に行く利用者や、車で週2回の買い物など日常的に外出支援を行っている。その他リング狩りや初詣などの行事を実施している。	現在頻繁に外出する機会を設けて実施しているが、今後家族の協力を得るなど、本人の希望に沿った外出支援が増えるよう取り組みに期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いをご自分で所持して頂き、買い物への外出や行事に出掛けた時、ご自分で支払って頂いている。一部事業所で管理し、お客様の希望時お渡ししている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望により家族に電話を掛け、お話し頂いている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	随所に花や収穫した野菜を飾り季節感を出したり、木を主体とした空間作りを行い、落ち着いた環境になるよう配慮している。	2階がグループホームとなっており、リビングは窓が多く、四方の山々が見渡せ移り行く季節を感じる事ができる。長い廊下を利用して機能訓練を実施し残存能力保持に力を入れている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂では気の合った方同士が食事や会話ができるよう配慮している。ベンチ等を利用し会話ができるようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	観葉植物、写真、使い慣れた家具等の利用により、その方が落ち着ける居室づくりに配慮している。	馴染みの物が持ち込まれ、その人らしい生活の場となってきている。利用者一人ひとりの能力に応じて掃除や衣類の片付けに関わり、居心地良く安心して過ごせるよう支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室内の家具の配置や居室の場所。居室の表札やトイレ表示等配慮している。		